


事業概要【あおり脱炭素チャレンジプロジェクト】

申請者	青森県					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	402,480千円 (75,148千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー関連産業への県内事業者の参入や県外のグリーン関連企業の立地促進、グリーン関連分野における新ビジネスの創出を進めることで、県内外の企業を県内の再エネ産業・半導体を始めとしたグリーン関連産業に取り込み、県内での産業振興と新たな雇用に繋げる。 また、SDGsの視点を持ち環境配慮行動を実践しながら経済活動や消費行動を行う環境人材・事業者を増やすことで、脱炭素社会実現に貢献する事業者や人材を育成する。 これらの取組により、産業振興・雇用創出・地域活性化・環境人材の育成・環境負荷低減・脱炭素化を推進することで、本県が働く場所・生活する場所・投資する場所として選ばれることを目指す。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーを活用した地域の産業振興 <ul style="list-style-type: none"> 県内の工業系高校生を対象とした現場体験研修、県内企業を対象としたオンライン研修の実施（委託料等）13,278千円 グリーン関連産業の誘致促進 <ul style="list-style-type: none"> 半導体関連産業誘致促進に向けた連絡会議の開催、立地環境調査、誘致活動等の実施（委託料等）37,518千円 フュージョンエネルギー関連産業拠点形成の推進に向けた大規模技術展示会へのブース出展等（委託料等）6,156千円 アップサイクルビジネスの創出に向けた県内企業向けの勉強会や首都圏展示会への出展（委託料等）5,244千円 					 <p>(高校生を対象とした現場体験研修)</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>県内事業者の参入や県外のグリーン関連企業の立地促進及び新ビジネスの創出を進め、県内外の企業をグリーン関連産業に取り込み、県内での産業振興と新たな雇用に繋げる。</p> <p>SDGsの視点を持った環境人材や事業者を増やすことで、脱炭素社会実現に貢献する事業者や人材を育成する。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ① 風力発電関連産業に参入している県内事業者数 (+6社) ② 電子部品・デバイス・電子回路製造業、生産用機械器具製造業、ソフトウェア業の企業誘致件数 (+7件) ③ アップサイクルに関する新ビジネス創出数 (+7件) ④ 県内事業者省エネ診断受診件数 (+25件)

※経費内訳はR7年度事業費

事業概要【中国定期路線を活用したインバウンド・アウトバウンド需要拡大事業】

旧制度（推進）

申請者	青森県	初回採択回	令和5年度第2回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	55,279千円（15,463千円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 中国定期便の安定した定着を図り、東北全体での周遊観光の確立やビジネス利用のニーズの促進を通じた交流人口の拡大により、地域経済の発展を目指す 			
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○民間事業者と連携した路線及び青森県の認知度向上 <ul style="list-style-type: none"> ・青森・上海線就航に向けたコーディネーターの設置、航空会社及び旅行会社への情報収集及び協議（委託料等）2,575千円 ○冬季等情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・上海及びその近郊における冬季観光コンテンツの情報発信（委託料等）2,906千円 ○オンライン旅行会社と連携した現地への情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・中国大手オンライン旅行会社との連携による同社ウェブサイト内への観光特設ページの開設（委託料等）9,982千円 		 <p>【三内丸山遺跡でのファムツアー】</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①中国人延べ宿泊者数（+69,490人泊） ②観光消費額（+78,000百万円） ③青森・上海線を活用した新たな旅行商品造成件数（+200件） 		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.aomori.lg.jp/so-shiki/seisaku/seisaku/digidenkou-hukin.html （効果検証） https://www.pref.aomori.lg.jp/so-shiki/seisaku/seisaku/seisaku_hyoka.html	

事業概要【時代に合った農業・食料関連産業トランスフォームプロジェクト】 旧制度（推進）

申請者	青森県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	148,333千円 (44,194千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 原油・原材料高等により農業に係る経費の高騰に対する仕組みづくり、脱炭素に貢献する産業としての発展、生産技術及び販売手法のデジタル化により、地方創生の取組を進めることで、これからの時代に合った生産から流通・販売までという一連の持続可能な農業・食料関連産業へと変革を促し、農業産出額の更なる増加と本県経済全体の成長を実現する 		
事業概要・ 主な経費	<p>○化学肥料低減、飼料等の自給体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 品質検査・診断や個別巡回指導の技術的サポートによる県産堆肥の品質改善指導の強化（交付金等）1,341千円 ライムギ・とうもろこし粗飼料の新たな栽培体系実証と稲WCSの生産利用拡大（委託料等）3,365千円 <p>○フードマイレージ抑制に向けた小売業、飲食業、食品加工業における地産地消の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元スーパーと連携した地産地消拡大に向けた取組（委託料等）5,412千円 <p>○デジタルを組み合わせ、官民一体となった県産品販売拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> EC等を通じた多様化するニーズに応じた販路開拓による「青森ファン」の獲得（委託料等）21,378千円 		
※経費内訳はR7年度事業費	<p>環境にやさしい農業のイメージ</p> <p>有機農産物</p> <p>化学肥料・化学合成農薬を減らす割合</p> <p>100%減 (2年以上不使用)</p> <p>100%減 (不使用)</p> <p>50%減</p> <p>取組拡大</p> <p>国際的に行われている有機農業の取組水準</p> <p>有機農業推進法の取組水準</p> <p>特別栽培</p> <p>慣行農業（一般的な栽培）</p> <p>有機JAS認証を取得している</p> <p>有機JAS認証を取得していないが有機農業を実施</p>		
KPI	<p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p> <ol style="list-style-type: none"> ①農家1戸当たりの農業産出額（+300万円） ②堆肥センターの利用率（+2%） ③大手量販店通常取引額（+30億円） 		
関連URL	<p>（交付金の具体的使途・実施体制）</p> <p>https://www.pref.aomori.lg.jp/sos/hiki/seisaku/seisaku/digidenkouhu_kin.html</p> <p>（効果検証）</p> <p>https://www.pref.aomori.lg.jp/sos/hiki/seisaku/seisaku/seisaku_hyok_a.html</p>		

事業概要【生業に裏打ちされた持続可能な中山間地域スマート農業構築プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	青森県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	134,421千円 (38,144千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域へのスマート農業の導入やおおもり米の高付加価値化を実現し、中山間地域を始めとする米農家の所得向上と農家経営の安定化を図る 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○中山間地域の水田等におけるスマート農業推進 <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域のスマート農業に適した基盤整備の検討（委託料等）2,820千円 ○農家の生業を支える「おおもり米」生産・販売拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・新品種「はれわたり」生産技術の向上に向けた研修会、指導拠点ほの設置、生産指導プロジェクトチームによる技術普及（委託料等）2,289千円 ・良食味・高品質生産に向けた指導力の向上と生産者の意識啓発（委託料、交付金等）3,011千円 ・おおもり米の認知度向上に向けた認知度調査（委託料）1,018千円 ・Webやメディアを通じた情報発信等（委託料等）23,148千円 		 <p>(スマート農業の実装に向けた農地の大区画化)</p>
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①農家1戸当たりの農業産出額（+300万円） ②中山間地域においてスマート農業の実装を可能とする基盤整備を行う地区数の割合（+50%） ③「はれわたり」の作付面積（+8,000ha） ④おおもり米の認知度向上（+20%） 		関連URL （交付金の具体的用途・実施体制） https://www.pref.aomori.lg.jp/so-shiki/seisaku/seisaku/digidenkou-hukin.html （効果検証） https://www.pref.aomori.lg.jp/so-shiki/seisaku/seisaku/seisaku-hyoka.html

事業概要【誰ひとり取り残さないDX推進体制構築プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	青森県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	305,011千円 (100,270千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野

目的・効果

・「暮らし・まち」、「産業」、「行政」におけるDXを推進し、県民誰もが便利で快適に暮らすことのできる青森県を目指す

事業概要・主な経費

※経費内訳はR7年度事業費

- 総合的支援体制の構築
 - ・IT事業者を核とした分野横断的な総合相談窓口の設置（委託料等）32,025千円
 - ・経営課題や新ビジネス創出に向けた県内先端事例を創出するコンテスト型補助金（補助金等）8,154千円
- DXにつながるデータ収集・活用基盤の構築
 - ・青森型ファンプラットフォーム（青森びいき）のシステム運用（委託料等）9,992千円
- デジタルバйд対策
 - ・最新デジタル機器の展示や模擬体験ができるフェア等の開催（委託料等）4,452千円
 - ・高齢者・障がい者を支えるICTサポーターの育成講座の開催（委託料）6,767千円

青森県DX総合窓口

- DXコンサルジュによる簡易コンサルティング
- DXコーディネーターなど専門家による伴走支援
- ポータルサイトによるDX事例の紹介
- デジタルツールの便利さを紹介するセミナーの開催
- IT企業紹介などのコーディネート

事業者
相談
普及

協力
IT企業
支援
機関
など



（上：DX相談窓口支援内容、下：デジタル体験創造フェア）

KPI

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値


- ① 就業者1人当たり県内総生産（労働生産性）全国との差を縮小 ※2018年度 180万円（▲30万円）
- ② DX戦略の策定支援件数（+36件）
- ③ ICTサポーターの育成数（+60人）
- ④ 暮らし・まち分野のDXモデル実装市町村数（+9団体）

関連URL

（交付金の具体的使途・実施体制）
<https://www.pref.aomori.lg.jp/so-shiki/seisaku/seisaku/digidenkou-hukin.html>
 （効果検証）
<https://www.pref.aomori.lg.jp/so-shiki/seisaku/seisaku/seisaku-hyoka.html>

事業概要【世界を見据えた戦略的な農林水産業の推進プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	青森県	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	291,634千円 (84,511千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 農林水産業における外貨の獲得と生産性・付加価値の向上による農林水産業従事者の所得向上を目指す 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○グローバルマーケットシェアの獲得 <ul style="list-style-type: none"> ・海外対象国に応じたパートナーとの連携による販路開拓・拡大（委託料等）14,456千円 ・ハラール等国際認証の取得促進（委託料等）4,724千円 ○農業グローバル人財の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・若手農業者や農業を学ぶ高校生、大学生等による提案型海外研修の実施（委託料等）15,282千円 ○農業DXの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・農業デジタル人財の確保、育成（事務費等）1,517千円 ○効率的な物流体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・機器・システムの導入等の取組支援（補助金）10,027千円 ・施設等の整備・改修の取組支援（補助金）10,027千円 		 <p>(県内学生によるオランダでの海外研修の様子)</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①経営体1戸当たりの農業産出額（+70.74万円） ②農林水産品輸出額（+15億円） ③新たに物流改善に取り組む農協や卸業者等の荷主業者（+18者） 		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.aomori.lg.jp/so-shiki/seisaku/seisaku/digidenkou-hukin.html （効果検証） https://www.pref.aomori.lg.jp/so-shiki/seisaku/seisaku/seisaku-hyoka.html	

事業概要【青森独自のディープな体験を磨くインバウンド観光消費拡大プロジェクト】 旧制度（推進）

申請者	青森県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	292,407千円 (91,048千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>・本県独自の文化や風土の中で、新たな観光付加価値を獲得していく余地のあると見込まれる、陸奥湾や海峽を活用した船旅コンテンツ、独自の農業生活体験、独自のアート作品等の新たな観光付加価値の獲得・向上に向け取り組むとともに、欧米富裕層をメインターゲットとするプロモーションとインバウンド向け商品づくりを強化していくことで、新たなインバウンドを獲得の素地を確立し、満足度と観光消費額を向上させ、県内経済の活性化につなげていくことを目指す。</p>		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○欧米及び豪州を中心とした新たなインバウンド獲得へのアプローチ強化 <ul style="list-style-type: none"> ・米西海岸地区への集中的な情報発信、プロモーション強化（委託料等）6,645千円 ・シンガポール誘客に向けたモニターツアー及び旅行博出展等（委託料）3,033千円 ・クルーズ船の寄港促進に向けたセールス等の展開（委託料、負担金等）19,696千円 ○航路を活用した新たな観光の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・航路を活用した本県と北海道道南地域の周遊コンテンツ強化（委託料等）24,318千円 ○インバウンド向け土産品等の開発支援 <ul style="list-style-type: none"> ・開発支援やテストマーケティング（委託料等）17,080千円 	 <p>（青森港に寄港したクルーズ船の歓迎）</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+288億円） ②外国人延べ宿泊者数（+233,535人泊） ③本事業による海外OTAサイト掲載商品数（+60件） ④むつ湾フェリー及び大函丸延べ旅客乗員数（+31,256人） 	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/seisaku/seisaku/digidenkouhukin.html （効果検証） https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/seisaku/seisaku/hyoka.html

事業概要【産学官連携による若者・女性を惹きつける青森推進プロジェクト】

申請者	青森県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	309,403千円 (98,409千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 「あおり人材育成・県内定着促進協議会」を中心とする体制で、若者に県内就職や県内企業の魅力を伝え、県内で働くことをポジティブな選択肢とすることで、若者の県内定着の促進を目指す。 都内にあおり移住サポート店の設置し、首都圏で暮らす本県出身者への移住に関する情報発信や交流の拠点とすることで、15歳～49歳の人口の純移動率の向上を目指す。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <p>○産学官連携による若者の定着促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 高校生向けキャリア支援イベント等の開催、魅力PRツールの制作・プロモーション（委託料）32,302千円 大学生が選ぶ「働きたい県内企業」等の情報発信（委託料）14,055千円 女子学生と若手女性社員との交流会等の開催（委託料）6,101千円 <p>○多様なつながりの創出による若者のUIターン促進</p> <ul style="list-style-type: none"> あおり移住サポート店の認定・連携（委託料）3,950千円 上記サポート店と連携した交流会やワークショップ等の共同事業の開催（委託料）3,000千円 					<p>あおり人材育成・県内定着促進協議会</p>	
※経費内訳はR7年度事業費							
地域の多様な 主体の参画	<p>産業団体、県及び県内大学等が「あおり人材育成・県内定着促進協議会」の構成員として、若者の郷土愛の醸成や企業との交流、県内就職の促進など支援体制を構築することで、若者の県内定着を促進する。</p> <p>また、県民の意見を直接聞く県民対話集会等の広報活動を通して、事業内容の改善に生かす。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①18歳から39歳までの県外への転出者に対する転入者の割合（+0.09） ②県内高等学校等卒業就職者の県内就職率（+3%） ③県内大学等卒業者のうち、就職希望者の県内就職内定率（+3%） ④移住・交流ポータルサイト「あおり暮らし」PV数（+8,157件） ⑤あおり移住サポート店数（+40店）
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	


事業概要【あおり産業イノベーションプロジェクト】

申請者	青森県				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	288,682千円 (102,077千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>・本県の基幹産業である農林水産分野と、先般、文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」（以下、「J-PEAKS事業」という。）に採択された弘前大学や弘前市等と多面的な取組を進めている健康分野など、イノベーションの推進によって強みや特徴のある分野を軸とした産業振興を行うとともに、それらの基礎となる新技術の研究開発等に向けた体制を整備し、本県経済全体の活性化へと波及させていく仕組みを構築することを旨す</p>					
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <p>○アグリ関連産業クラスター構築事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業を対象とした参入ニーズ調査、参入可能性のある県内企業へのハンズオン支援（委託料等）22,108千円 ・県内外スタートアップ等との実証（委託料等）14,954千円 <p>○県内先駆的取組と連動したヘルスケア産業育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・COI参画企業による県内企業の視察・情報交換会の開催（委託料等）1,003千円 ・COIの研究成果や先駆的な取組と連動した社会実装実証（委託料等）4,020千円 <p>○オープン・イノベーション創出事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業と課題解決を行う県外スタートアップ等とのマッチング（委託料等）14,399千円 				 	
※経費内訳はR7年度事業費					<p>イノベーションの推進による持続的な一次産業への構造転換と社会保障等の課題解決</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>アグリ分野及び健康分野を軸とした産業イノベーションを推進し、県内企業の事業転換や産学官金によるネットワークを構築することによって、将来にわたって稼ぐことができる基盤を整備する。</p>				KPI	<p>①今後3年間で飲食加工業含む県内製造業の付加価値額（+184億円）</p> <p>②ヘルスケア関連分野における新規取組事例数（+45件）</p> <p>③県内企業と県外スタートアップ等との共同実証モデル数（+9件）</p>
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	



事業概要【地域交通ネットワーク再構築プロジェクト】

申請者	青森県				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	249,477千円 (71,184千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通の維持に向けて、地域公共交通の維持に向けて、DXやライドシェア等による地域公共交通の利便性の向上や交通事業者の経営見直し・改善、人財確保等に取り組むなど、交通事業者の運営基盤の強化を図り、県民が住み慣れた地域で安心して移動・外出できる広域的な地域公共交通ネットワークの実現を目指す 					
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域のニーズ・実状に応じた交通ネットワークの確保 <ul style="list-style-type: none"> 複数の交通手段や他分野との連携によるMaaS実証（委託料）9,000千円 交通空白地におけるライドシェア実証（実証）10,000千円 ○交通ネットワークの利用促進 <ul style="list-style-type: none"> モビリティデータの活用促進に向けた体制づくり（事務費、委託料）6,018千円 ○地域公共交通の人材確保 <ul style="list-style-type: none"> 交通事業者による採用活動と労働環境改善対策の促進（補助金）29,000千円 					
※経費内訳はR7年度事業費						
地域の多様な 主体の参画	<p>青森県バス交通対策協議会及び大学、金融機関等が地域公共交通の維持に向けて、交通事業者の運営基盤の強化を図り、広域的な地域公共交通ネットワークの実現を目指す。</p>				KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①18歳から39歳までの県外への転出者に対する転入者の割合（+0.1） ①地域公共交通の年間利用者数（+506千人） ②路線バス（地域間幹線系統）の収支率（+179.3%） ③県内民営鉄道2社と青い森鉄道の定期外の旅客運輸収入（+48百万円） ④県内広域路線バス5事業者の乗合バス運転士充足率（+13%）
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	


事業概要【連携・協働による所得向上・労働力確保推進プロジェクト】

申請者	青森県				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	201,788千円 (66,942千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 働き方改革分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 市町村、金融機関、大学等の各主体と連携・協働しながら、県民の所得向上や労働力確保に向けた対策に取り組むことで、外国人材を始めとした多様な人材による労働力が確保され、県内事業者の経営が安定することで、県民の所得向上につなげる。 					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○所得向上・労働力確保に向けた各主体・県民の意識醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称) 所得向上ラウンドテーブル2025の開催・配信(委託料) 1,964千円 ○外国人材の雇用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・県内事業者向け外国人受入相談窓口の設置(委託料等) 12,634千円 ・市町村における外国人受入環境整備の支援(補助金) 20,000千円 ○各主体との連携・協働による取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関と連携した事業者への情報提供(委託料) 2,300千円 ・大学と連携した留学生と県内企業との交流会の実施(委託料) 1,296千円 				 <p>※所得向上ラウンドテーブルの開催イメージ</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>相談窓口を通じて県内企業や農業者から、外国人受け入れや労働力確保に係る現状や課題を聞き取り、受け入れ態勢の整備や労働力確保対策に反映する。</p>				KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①労働力率(15歳以上の労働力人口/15歳以上人口)の維持(±0%) ②外国人労働者数(+2639人) ③副業を認めている県内企業の割合(+17.60%) ④本事業等を通じた農業労働力マッチング数(+96人)

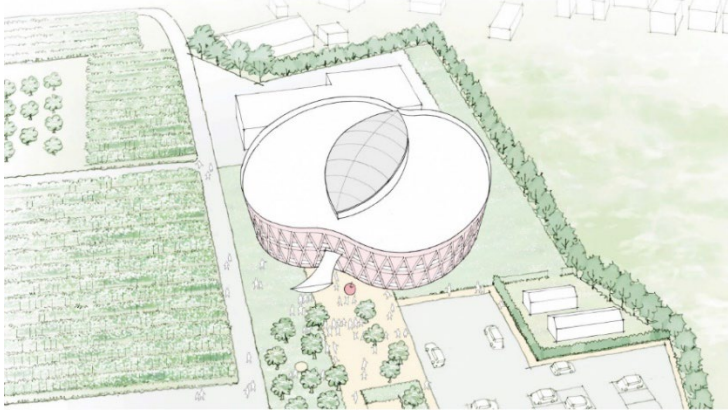
事業概要【水産業の構造改革プロジェクト】

申請者	青森県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	250,504千円 (83,529千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<p>・ホタテガイやサーモンなどの「つくり育てる漁業」や地域資源と既存の漁港施設等を最大限に活用した海業が県内に浸透することにより、県内の主要魚種の安定生産と水産業の成長産業化が進み、水産資源の持続的利用と漁業者の所得向上を目指す。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○陸奥湾ホタテガイ生産・経営変革 <ul style="list-style-type: none"> ・効率的な採苗に向けた技術開発（交付金）6,535千円 ・養殖経営体の承継円滑化（委託料等）10,093千円 ○サーモン海面養殖の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・効率的な養殖手法の確立（委託料）7,109千円 ・プレーヤーづくりの推進（委託料、交付金）4,894千円 ○「つくり、育てる、稼げる」あおもりの漁業創出 <ul style="list-style-type: none"> ・本県漁業関係者から期待が寄せられている海藻類の増殖実証や魚類の種苗生産技術の開発・改良（委託料、交付金等）22,072千円 					 	
※経費内訳はR7年度事業費							
地域の多様な 主体の参画	<p>農林漁業者や、市町村、関係団体が共通認識を持って連携・協力しながら取り組んでいくため、「農林水産力」強化本部を設置し、漁業経営改善を図るための効率的な漁業・養殖技術開発や調査研究を実施する。</p>					KPI	<p>①海面漁業の漁獲量（+14,000トン）</p> <p>②陸奥湾ホタテガイ生産額100億円の維持（±0億円）</p> <p>③海面養殖サーモン用種苗生産施設数（+2箇所）</p>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	


事業概要【次世代へつなぐ！文化継承・魅力発信プロジェクト】

申請者	青森県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	151,677千円 (43,925千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光振興分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 観光コンテンツでもある本県の特徴ある文化等の次世代への着実な継承に向けて、その価値や魅力に対する理解・活用の促進に取り組み、多くの県民が郷土への誇りを持ちながら、文化を通して心の充実や生きがいを感じられる地域社会の実現を目指す。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○無形民俗文化財の次世代への継承促進 <ul style="list-style-type: none"> ・無形民俗文化財の記録作成（委託料等）3,197千円 ・あおり民族芸能活性化大会の開催とテレビ等での情報発信（委託料）27,844千円 ○「あおり縄文ステーションじよもじよも」をフックとした地域活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信拠点プロモーション映像等の制作、構成資産を有する6市町と連携した定期的なワークショップ等の開催（委託料等）10,955千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>縄文遺跡群を地域づくり、人づくり、観光などの幅広い分野で活用し、本県の活性化につなげるよう、行政やガイドや民間団体が一体となって取り組む。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+90億円） ②無形民俗文化財の民族芸能に係る保存団体のうち活動中の団体数（+15団体） ③「あおり縄文ステーションじよもじよも」来訪者数（+10,000人） ④三内丸山遺跡センター来館者数（+90千人）
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【青森りんご新時代創造プロジェクト】

申請者	青森県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	3,169,665千円 (99,777千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	農林水産振興分野
目的・効果	<p>・国内唯一のりんご中心の研究機関である県産業技術センターりんご研究所の機能強化や、りんごの生産基盤強化及び市場拡大のための対策に取り組み、「青森ブランド」のトップランナーであるりんごの生産量を現状と同等の44万トンの維持を目指す。</p>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○青森りんご先端技術導入事業 <ul style="list-style-type: none"> ・高密植栽培の取組促進に向けた専用苗木の増産体制の強化（補助金等）10,307千円 ○植栽150周年を契機としたプロモーション事業 <ul style="list-style-type: none"> ・150周年記念事業実行委員会の活動支援（負担金）14,500千円 ○台湾向け輸出りんごリスク低減対策事業 <ul style="list-style-type: none"> ・輸出リスク低減に向けた選果技術の実用化（委託料等）10,550千円 <p>【拠点整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県産業技術センターりんご研究所の機能強化（新設） <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備 28,004千円 					 <p>(りんご研究所整備イメージ)</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>生産者は生産性の向上や生産力の維持に向けた高密植栽培の導入、スマート農業技術・機械を積極的に導入し、省力化を図りながら、高品質で安定的な生産に取り組む。関係団体と県は連携しながら、生産から流通において生産者の支援にあたる。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における農林水産出荷額（+70万円） ②りんご生産量44万トンの維持（±0万トン） ③高密植栽培面積（+86ha） ④国産りんごの輸出額（年産）（+14億円）

事業概要【魅力あるながいも産地づくり推進プロジェクト】

申請者	青森県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	267,020千円 (19,275千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 優良種苗の生産に向けて、県産業技術センター野菜研究所にながいも種苗専用の冷蔵施設を新設するとともに、本県産ながいもの生産力向上、担い手の確保・育成、流通・販売力の強化に係る対策に取り組み、将来にわたり、安心してながいもをつくり続けることができる魅力ある産地の実現を目指す 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ながいもの優良種苗増殖に係る事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「むかご方式」から「切りいも方式」への転換による種苗増殖方法の実証等（委託料等）2,177千円 ○ながいものブランド向上に係る事業 <ul style="list-style-type: none"> ・新品種「夢雪」の高品質多収栽培技術の確立（交付金等）2,707千円 ・県産業技術センター農産物加工研究所における新たな機能性成分の探索に係る研究等（委託料等）1,579千円 <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○野菜研究所にながいも冷蔵施設を整備 <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備 12,812千円 					<p>【むかご方式】 ▶▶▶ 【切りいも方式】</p> 	
地域の多様な 主体の参画	生産者を参集した研修会や有識者によるながいも戦略推進協議会を通じて、生産者から種苗増殖方法や担い手に確保・育成対策について意見を吸い上げ、県が具体的な改善案を検討し、事業内容に反映させる。					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における農林水産出荷額（+60万円） ②ながいも優良種苗（成いも）供給量（+1,200kg） ③ながいもの単収（+890kg/10a） ④ながいものAB品率（+7.2%）

事業概要【国道102号奥入瀬渓流における自動運転実証実験事業】

申請者	青森県					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	36,000千円 (36,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方経済の創生
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> バイパス開通後の奥入瀬渓流における持続可能な観光交通に向けて、エコツアーガイドが同乗した自動運転実証実験を通じ、滞在時間を増やし関係人口を増やして観光消費額の増大を目指す。 また、上記の自動運転実証実験を通じ、2027年のレベル4社会実装を目指し、将来のバイパス完成後に導入する交通における運転手充足率向上を目指す。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 冬季の渓流内交通の小型モビリティ/自動運転実装に向けた実証実験を行う。 エコツアーガイドが同乗し、ツアーとしてスローな移動サービスの提供を行う。単なる移動手段ではない、移動を観光コンテンツ化した奥入瀬ならではの高付加価値化させた移動サービスを提供し、観光消費単価を高める。 また、運転手不足への対応に向けて、上記の移動サービスを自動運転の走行実験で行う。 2027年にレベル4の自動運転を導入することを目指し、冬季に安全に走行が可能か、遠隔監視に問題がないか走行実験により確認する。</p> <p>【ソフト事業経費】 自動運転実証実験に係る経費（委託費） 36,000千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>関係する各行政、地元事業者、周辺自治会で構成する奥入瀬十和田利活用協議会において、事業内容及び結果の評価を行う。 協議会には、交通運行事業者・観光事業者・ガイド団体などの産、環境省・国土交通省・県・十和田市の官等で構成するほか、学識者で構成する奥入瀬渓流利活用検討委員会や、実証実験として位置づけられているSIP第3期スマホビの筑波大学コンソ等から意見をいただき取り組む。</p>					<p>KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>★①青森県における観光消費額（+500億円） ②十和田市における一人当たり観光消費額（+4,000円） ③青森県内における運転手充足率（+13%） ④自動運転車両の延べ乗車人数（+600人） ⑤自動運転率（+100%）</p>

※経費内訳はR7年度事業費

事業概要【コワーキング・交流室付きワーケーション体験施設を活用した移住促進事業】

旧制度（推進）

申請者	青森県青森市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	20,346千円（4,288千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>本市における人口の社会減を始めとした諸課題に対応するため、本市浪岡地区が有する「津軽の交通結節点/活用可能な住居（空き家）が多い/生活利便性が高い」といった「地の利」を生かし、同地区に空き家リノベーションによる体験施設を整備し、「実生活がイメージできる生活体験」と「地域の多世代との交流」を生かした「地域一体での受入体制による交流体験」等を通じ、関係人口の増加を契機とした更なる移住・定住の促進を目指す。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>○体験施設の管理運営 市街地にある空き家を借上げリノベーションした、複数組を受入可能な体験及び交流の場である施設の維持管理及び運営を行う。 （施設等借上げ及び維持管理に係る経費 1,735千円）</p> <p>○移住体験モニター事業の実施 子育て世代等をメインターゲットに、地区内での買い物などの生活体験、子育て世代・地域住民との交流体験のほか、空き家利活用の働きかけを実施する。（交流体験実施に係る経費 270千円）</p> <p>○ワーケーション体験モニター事業の実施 フリーランスの方をメインターゲットに、リモートワーク体験×余暇体験及び地域住民との交流体験を実施する。（機器等借上げ及び交流体験等実施に係る経費 2,283千円）</p>		
KPI	<p>①地域へのUIターン数（+37人）</p> <p>②移住体験・ワーケーション体験参加者数（+318人）</p> <p>③体験以外の施設利用者数（+88人）</p> <p>④本市空き家バンクの登録数（+15件）</p>	関連URL	<p>https://www.city.aomori.aomori.jp/kurashi_kankyo/sumai/1002204/1002211/1002218.html</p>

事業概要【青森市スマートシティ推進事業】

申請者	青森県青森市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	109,780千円 (9,280千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術を活用したまちづくり（スマートシティ）を推進することで、人口減少下でも地域の持続可能性を高めることができる。 地域のスマートシティ推進体制、サービス基盤、実装サイクルを構築することで、継続的にデジタルサービスが創出されるとともに、市民サービスの向上や地域課題の解決に繋がる。 市民生活にデジタルサービスが定着することで、本市の構造的な課題であるデジタル化の遅れの解消に繋がる。 						
事業概要・ 主な経費	<p>スマートシティを推進するための都市マネジメント機能として、地域が主体となってスマートシティを推進する事業推進主体を組成するとともに、地域の人材育成を行いながら、準公共分野における共助型のスマートシティサービスを企画する仕組みを試行実施する。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○スマートシティ推進組織構築・運営費 (委託料、講師謝金・旅費、会場費) 9,280千円</p>					<p>※WG：ワーキンググループ</p> <p>※青森市スマートシティビジョン抜粋</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>商工会議所、金融機関、大学と連携し、地域のスマートシティ推進組織の在り方を検討する。</p> <p>また、各団体等の強みを活かしながら、地域企業等の巻き込み、事業の周知、人材育成などを行うとともに、地域幸福度（Well-Being）指標のアンケートなどを通じて、市民参画の促進や市民意見の反映していく。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①地域のデジタル生活の定着度（+3） ②スマートシティ推進組織の会員数（+15者） ③スマートシティサービスの実証・実装件数（+6件） ④（仮）市民ポータルの利用者数（+1000人）

※経費内訳はR7年度事業費

※WG：ワーキンググループ

※青森市スマートシティビジョン抜粋

KPI

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

- ①地域のデジタル生活の定着度（+3）
- ②スマートシティ推進組織の会員数（+15者）
- ③スマートシティサービスの実証・実装件数（+6件）
- ④（仮）市民ポータルの利用者数（+1000人）

事業概要【弘前版全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち推進事業」】

申請者	青森県弘前市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	114,322千円 (21,207千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 県内外の人が協力しながら当市のPR媒体を作成し、魅力発信のイベント等を行うことで、当市への多様な人の流れを作る。 地元へ定住・還流する若者を増やすため、人材育成支援のための体制整備を行いながら、地域人材の育成を図る。 地方へ関心を持ってもらい、関心度を高めるため、転出者をはじめとする県外在住者が当市とつながる機会を提供する。 これらの取組により、当市が県内外の若者にとって興味深い地域となり、地域へ目を向ける人や地域と関わる人が増えることで、地域力維持・向上の一助とする。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 関係人口創出のため県内外の人が交流・協力し合い当市の魅力発信を行うことや、地元への定住・還流する若者を増やすため人材育成を図ることなどを通し、当市へ目を向け、地域と関わる人を増やすことで、地域力の維持・向上を目指す。</p> <p>【主な経費】 ○関係人口の創出 ・PR媒体編集チーム運営、当市の地域資源の体験機会（委託料）：11,000千円 ○地域をフィールドにしたひとづくり ・プロジェクトの周知にかかる経費（印刷製本費）：101千円 ・プロジェクトの企画運営にかかる経費（委託料）：7,999千円 ○首都圏における若者のコミュニティづくり ・イベント開催にかかる経費（委託料：イベント出演業務・SNS広告掲載業務、使用料及び賃借料等）：2,107千円</p>					<p>■ 関係人口の拡大及び地域人材の育成による移住・定住推進 ■</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>地元事業者や市民等と協働で、多くの県外在住者が当市に関心を持ち、当市と関わるためのアクションを起こす人を増やすため、PR媒体づくりや、PRイベント、地域資源の体験ができるフィールドワーク等を行う。また、地元事業者や大学と連携しながら、若者の地域への愛着心や地域志向を持った人材を増やすため、若者が地域の課題解決等に取り組む機会を提供する。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①移住者数（+330人） ②弘前版全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち推進事業」関係人口創出事業への参加者数（+505人） ③地域をフィールドにしたひとづくり参加者数及び首都圏における若者コミュニティづくり参加者数（+1,000人） ④当市に関心がある方を対象としたSNSコミュニティへの登録者数（+1,310人）

※経費内訳はR7年度事業費

事業概要【健康とまちのにぎわい創出事業】

申請者	青森県弘前市					初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	209,151千円 (42,328千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 健康ビッグデータに基づくQOL健診等によりメタボリックシンドロームを予防・改善し、社会保障費の削減等を図る。 地元企業によるメタボリックシンドロームの予防・改善プログラムを構築し、ヘルスケア産業の雇用創出へとつなげる。 持続可能なスキームを構築し、健康で生き生きと働き続けられるWell-beingな地域社会の実現を目指す。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○QOL健診実施経費（委託料）3,465千円 ○健康プログラム提供経費（委託料）13,563千円 ・健康プログラムの提供 ・地元企業を対象とした健康プログラムの説明会 ○サービス向上経費（委託料）19,940千円 ・健康アプリ運用 ○周知啓発経費（委託料）2,100千円 ・イベント実施 ・その他各種媒体による本事業の周知 ○健康教育等実施経費（委託料）632千円 ・生活習慣病に関する周知啓発 ○SIB移行準備、第三者評価実施経費（委託料）2,628千円 						
地域の多様な 主体の参画	<ul style="list-style-type: none"> ・弘前大学COI-NEXTの側面を有する本事業の実施に当たっては、弘前大学と連携し、専門的な役割を担ってもらいながら、ともに事業推進主体として一体的に取り組む。 ・青森県及び弘前大学健康未来イノベーション研究機構の参画企業と連携し、あおり産業イノベーション推進プロジェクト（県事業）との連続性を持たせながら、地元企業の健康プログラムへの参画促進につなげる。 					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①中心市街地の歩行者・自転車通行量（+7,500人） ②メタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合（▲6.5%） ③特定健康診査の受診率（+22.8%） ④健康プログラムにおける地元企業の関与件数（+3件） ⑤弘前版PFS/SIBモデル事業への資金提供に関する協議を行っている企業数（+2件）

事業概要【「健康」を軸にした持続可能なりんご産業形成事業】

旧制度（推進）

申請者	青森県弘前市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	67,958千円（22,600円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的・効果	<p>・デジタル技術を活用しながら、りんご生産者の健康寿命延伸、高品質りんごの安定生産、消費者の健康に寄与するりんごの供給拡大に向けて取り組む</p> <p>・一大産地としての地域の活力、魅力を向上させ、「健康な産地から、健康に寄与する確かな品質のりんごを安定供給し、消費者の健康を支える、持続可能なりんご産地」の実現に繋げていく</p>			
事業概要・ 主な経費	<p>〇りんご生産者の健康寿命延伸</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康啓発手法の構築業務（委託料ほか） 1,590千円 身体負荷の軽減に向けた栽培管理手法の構築 栽培方法の効果検証と試行、改善業務（委託料） 1,800千円 普及展開セミナー開催（講師謝礼等一式） 710千円 健康増進の普及を担う活動に対する支援（補助金） 2,000千円 <p>〇デジタル技術の活用による健全な樹体管理の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル技術を活用した学習体系構築（委託料） 9,900千円 <p>〇消費者の健康に寄与するりんごの供給拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 機能性表示食品制度を活用したりんご生果等の創出支援（補助金） 非破壊による機能性成分計測の実現に向けた、光センサー技術を活用した解析方法の精度検証（委託料） 6,600千円 			
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①弘前市の果樹産出額 (+12億円) ②りんご生産者QOL健診参加者数 (+105人) ③特定健康診査の受診率 (+13.4%) ④機能性表示食品制度を活用した弘前ブランドとしてのりんご生果届出数 (+6件) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.hirosaki.aomori.jp/jouhou/keikaku/chihouseisei-koufukin.html</p>	

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

(交付金の具体的使途・実施体制)
(効果検証)


事業概要【デジタルマーケティングを活用した青森県津軽地域の観光地域づくり推進事業】 旧制度（推進）

申請者	青森県弘前市ほか 1 3 自治体	初回採択回	令和 6 年度第 1 回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	123,147千円 (36,468千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 津軽地域全体での観光に取り組む方向性の統一と地域における観光関連事業者の稼げる仕組みの確立 行政や事業者など多様な主体との連携を深めて圏域の総力を結集することで、新たな観光価値の発掘や多種多様な観光コンテンツの提供など観光振興のブレクスルーを起こす 地域の観光情報を集約してより多様な趣向に一度に応えられるようにスケールメリットを活かした面的なプロモーションの事業展開を行う 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○（一社）Clan PEONY 津軽のデジタルマーケティング分析能力の向上及び分析結果を踏まえた観光戦略策定とターゲット選定 <ul style="list-style-type: none"> ・津軽地域観光需要調査費用（委託費）770千円 ○マーケティング分析に基づいた、新たな観光の魅力発掘や事業者等との連携による受入環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・地域観光の目玉となる旅行コンテンツ造成事業（委託費）6,000千円 ・事業者と連携して外部有識者支援のもとに商品造成（商品造成費）5,500千円 ○観光コンテンツ磨き上げや販路拡大による誘客の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・観光コンテンツをインバウンド向けに磨き上げ（商品造成費）2,000千円 ○ターゲット層への効果的な訴求手法を活用した面的な観光プロモーションの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットを絞ったGDN広告やInstagram広告の掲出（広告宣伝費）2,000千円 		 <p>Clan PEONY 津軽</p> 
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+12,408,000千円） ②（一社）Clan PEONY 津軽ホームページのプレビュー数（+90,000PV） ③（一社）Clan PEONY 津軽ホームページを介して販売された旅行コンテンツの販売額（+2,100千円） ④旅行コンテンツの造成件数（+40件） 		<p>関連 URL</p> <p>（交付金の具体的使途・実施体制） （効果検証） https://www.city.hirosaki.aomori.jp/jouhou/keikaku/chihouseisei-koufukin.html</p>

※青森県弘前市、黒石市、五所川原市、つがる市、平川市、鱒ヶ沢町、深浦町、西目屋村、藤崎町、大鰐町、田舎館村、板柳町、鶴田町、中泊町の広域連携事業

事業概要【いきいきとしたデジタル社会推進事業】

旧制度（推進）

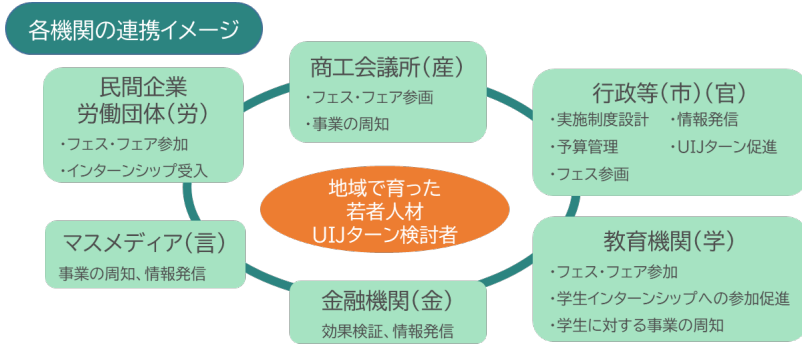
申請者	青森県八戸市	初回採択回	令和5年度第1回募集	
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	94,694千円 (60,896千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地元IT企業の連携強化を図る。 ・地元企業のデジタル人材不足によるデジタル化の遅れの解消、地域のデジタル化に関する産学官連携を図る。 ・子どもたちに新たな「学び」の提供を図る。 ・子どもの遊ぶ場の少なさの解消を図る。 			
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○地元IT企業の連携を深め、地域のデジタル化を図る事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ITフォーラムの開催（委託料）1,947千円 ・ワークショップの開催（委託料）4,273千円 ・情報共有、情報発信グループウェアの保守・運用（委託料）780千円 ○デジタルアトラクション・デジタルアーカイブライセンス使用料（使用料）31,900千円 ○児童科学館デジタルリノベーションに関する実施設計 <ul style="list-style-type: none"> ・実施設計策定（委託料）21,996千円 			
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地元IT企業の連携を深め、地域のデジタル化を図る事業に関する満足度（+80%） ②グループウェア参加企業数（+45件） ③プログラミング教室等のワークショップ参加数（+180人） ④児童科学館デジタルコンテンツ利用者数（+4,000人） 		関連URL https://www.city.hachinohe.aomori.jp/	

事業概要【産学官連携による八戸未来創造事業】


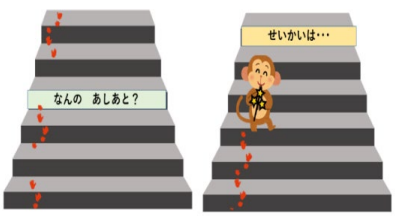
旧制度（推進）

申請者	青森県八戸市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	91,201千円 (31,740千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>・「産学官連携による八戸未来創造中長期計画」において、若者人口【15～29歳】の増減数を中期（2025年）に▲2,000人まで抑制し、長期（2045年）に増減を均衡させることを目標として定めており、当目標を達成していくために、産学官の連携を強化し、若者の地元への愛着の醸成や地元定着等に向けた取組を進め、将来的な若者人口の社会増減の均衡を図る。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>○産学官連携推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局体制の整備、ニーズ調査を踏まえた高等教育機関・市内企業PR、インターンシップ等による人材育成や外国人材の受け入れ・活用等に係る取組（負担金）10,000千円 <p>○人材育成・雇用創出事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社内人材育成支援事業（委託料）3,300千円 ・クロステックイノベーション事業（委託料）8,000千円 <p>○こどもの当市への愛着や理解を促進していくための魅力発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども向けホームページの作成（委託料等）10,440千円 		<p>八戸市</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 地域文化の持続的発展と都市の活性化 ★ 地域の高等教育機関との連携による雇用創出・若者定着 <p>八戸市高等教育連携機関</p> <ul style="list-style-type: none"> 八戸工業大学 八戸学院大学 八戸工業高等専門学校 八戸学院大学短期大学部 <p>八戸商工会議所</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 地域の中核的産業の振興 ★ 中心市街地などの地域活性化 ★ 労働人口、人材の確保 ★ 専門的人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ★ 地域のニーズに応じた人材育成・研究成果の創出 ★ 地域活性化につながる共同研究、共同事業 ★ 学生による街づくりへの参画と地域理解の向上 ★ 社会人教育・学び直しへの支援
KPI	<p>①地域へのUIターン数（+15人）</p> <p>②若者の市外転出者（抑制）数（-60人）</p> <p>③産学官連携事業数（+6事業）</p> <p>④外国人留学生数（+15人）</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.hachinohe.aomori.jp/</p>
※経費内訳はR7年度事業費	<p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>		

事業概要【未来へつなぐ！はちのへ若者定着推進事業】

申請者	青森県八戸市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	75,231千円 (20,577千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>・産業フェスタ、リクルートフェア、企業学生間のマッチング・インターン支援、UIJターン検討者向けの取組を一連で行うことで、地元企業の認知度向上や情報発信力を強化し、地元で育った人材の地元定着や人材還流の促進を図る。</p>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【ソフト事業経費】</p> <p>○(仮称)サンフェスHACHINOHE開催支援事業 負担金8,500千円（委託料8,350千円、会議運営費150千円）</p> <p>○(仮称)はちのへ企業魅力発信×発見フェア開催事業 委託料10,000千円</p> <p>○はちのへリアルワーク体験事業 2年目から実施のため1年目の事業費なし</p> <p>○超帰省®応援事業 印刷製本費259千円、委託料1,800千円、報償費18千円</p>					 <p>各機関の連携イメージ</p> <p>民間企業労働団体(労) ・フェス・フェア参加 ・インターンシップ受入</p> <p>商工会議所(産) ・フェス・フェア参加 ・事業の周知</p> <p>行政等(市)(官) ・実施制度設計 ・情報発信 ・予算管理 ・UIJターン促進 ・フェス参加</p> <p>地域で育った若者人材UIJターン検討者</p> <p>マスメディア(言) 事業の周知、情報発信</p> <p>金融機関(金) 効果検証、情報発信</p> <p>教育機関(学) ・フェス・フェア参加 ・学生インターンシップへの参加促進 ・学生に対する事業の周知</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>市が出展者及び参加者アンケートで事業実施等における改善点を聴取し、その内容について改善計画を取りまとめるうえで、参加側（企業側・学生側）、労働者側のそれぞれに対場に立った観点から改善計画に対して助言をもらう。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①地域へのUIJターン数（+15人）</p> <p>②新規高等学校の管内事業所への就職割合（+3%）</p> <p>③新規市内高等教育機関卒業者の管内事業所への就職割合（+3%）</p> <p>④インターンシップ受入可能企業数（+20社）</p> <p>⑤八戸市公式SNS等の合計フォロワー数（+13,800人）</p>

事業概要【プラス1000歩チャレンジ事業】

申請者	青森県むつ市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	4,959千円 (1,147千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> スーパーなどにステッカーを設置し、自然に歩きたくなるような仕組みづくりを行うことで健康寿命の延伸を図る。 多世代の方がウォーキングに親しめるよう、大学と連携しイベントを企画することで地域の健康づくりに対する意識の醸成を図る。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 厚生労働省の身体活動・運動ガイドでは、「1日あたり10分の身体活動を増やすことで、生活習慣病発症や死亡リスクが約3%低下する」と推測されていることから、働き盛り世代を主な対象とし、市民の活動量を+（プラス）10分、歩数換算で+（プラス）1000歩増やせるような環境づくりとウォーキングイベントを行う。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ウォーキングイベント（報酬）42千円 運動セミナー講師（報償費）15千円 運動セミナー講師など（旅費）13千円 イベント開催（需用費）132千円 体組成計動産保険（役務費）51千円 床面ステッカー等（委託料）854千円 ポット（備品購入費）40千円 					<p>例)床面ステッカー</p>  <p>例)階段ステッカー</p> 	
地域の多様な 主体の参画	<p>企画の立案、運営、SNSを利用した若い世代へ向けた広報等のため、八戸学院大学むつ下北キャンパスと連携を図り、市内スーパーや商業施設に歩数増加のためのステッカーやポスターの設置について協力体制を構築する。</p> <p>八戸学院大学むつ下北キャンパス、市内スーパーや商業施設とは、イベント実施後の結果について改善点を共有し、次のイベント企画に反映させていく。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①プラス1000歩多く歩くことを意識する者の割合（+60%） ②ウォーキングイベント参加者の20代、30代の割合（年間・延べ）（+45%） ③来店時にステッカーを利用した者の割合（+40%） ④八戸学院大学と協働で行うSNSの発信回数（+20回）

事業概要【産学官連携による地域産業活性化プロジェクト】

申請者	青森県むつ市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	14,700千円 (3,200千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<p>・産学官連携により、農林水産業の事業者が抱える課題の解決を図ることにより、事業者の所得向上を図るとともに、持続可能な地域産業モデルの構築や新たな産業の集積を目指す。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 産学共創による研究体制が進んでいる東北大学大学院農学研究科と連携し、各事業者の課題解決に向けた調査・研究に取り組むことにより各事業者の経営体制の強化を図る。 ほか、加工用じゃがいもの産地化を目指し生産量の増加を図るため、新たに栽培するあるいは栽培規模の拡大に取り組む農業経営体に対して、栽培等に要する経費の一部を補助金として支援する。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○産官学連携イノベーション創出事業 ・調査・研究等委託（委託料）2,400千円 ○加工用じゃがいも産地化支援事業 ・産地化支援補助金 1,500千円</p>					<p>社会課題の解決による持続可能な社会の実現</p>	
※経費内訳はR7年度事業費							
地域の多様な 主体の参画	<p>東北大学大学院農学研究科と連携し基礎調査や研究の実施、セミナーや報告会等を開催する。 農林水産業者と連携し農作物の実証栽培、調査・研究への協力、実証実験フィールドの提供を行う。 ほか、事業者への周知、資金調達の助言、効果検証への参画として商工会議所及び各金融機関との連携を促進する。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①むつ市の農業産出額（+30億円） ②事業に参画した事業者における農業所得の増加割合（+10%） ③産学官連携イノベーション創出事業における連携事業者数（+10者） ④加工用じゃがいもの栽培面積（+6ha）</p>

事業概要【広域観光を核とした稼げる地域づくり創生事業】

申請者	青森県むつ市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	147,750千円 (58,492千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野 観光分野
目的・効果	<p>・海外市場を意識した販路開拓及び観光誘客や、むつ市と世界の架け橋となる人材の育成に積極的に取り組むとともに、受入環境の整備として既存の観光資源の磨き上げ、新たな観光コンテンツを創出するための産業振興を図る。</p> <p>・地域の観光・物産関連団体が統合して発足する新たな法人が、これらの取組の旗振り役を担うことから、新法人への伴走型支援を実施し、下北地域全体で「稼げる地域」の実現を目指す。</p> <p>・これらの取組を通じ、地域事業者の収益向上、生産者や労働者の所得向上、地域内雇用の創出を実現することで、若者をはじめ、誰もが住みたいと思えるまちづくりに寄与し、若年世代の人口流出や人口減少に伴う地域経済の衰退に歯止めをかける。</p>					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 台湾高雄市との交流発展を通じた賑わいづくりや、伝統文化である夏祭りの環境整備を実施する実行委員会を組織し、海外販路開拓やインバウンド誘客につながるような魅力向上を図る。また、世界夜景遺産に認定されたむつ市の夜景を活用し、ナイトタイムエコノミーの活性化に寄与する夜景観光のブラッシュアップを図り、誘客イベント等の実施によりPRに注力する。</p> <p>さらに、新たな産業の柱として、原材料の生産や工場見学等による観光への寄与が期待できる「プルフリー」の設置可能性を図るための市場調査や商品企画検討を実施する。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○田名部・大湊地区閃閃事業負担金 6,760千円 ○光のアゲハチョウ推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・誘客促進業務委託 1,074千円 ・誘客イベント開催業務委託 3,347千円 ・案内パネル改修業務委託 2,200千円 ○新たな産業による稼げる地域づくり事業 <ul style="list-style-type: none"> ・調査業務委託料 10,864千円 ○しもきたツーリズム負担金 34,247千円 				 	
地域の多様な 主体の参画	<p>新たな産業等による稼げる地域づくりの実現に向け、青森県、しもきたツーリズム、あおり創生パートナーズとの連携を促進する。</p> <p>ほか、青森大学から、海外の大学生との交流プログラムへの参加や若者の視点からの事業内容に対する提案をもらい、各事業の改善につなげるとともに、市が主催する市長との意見交換の場において、市民、各町内会等から利用者目線での意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。</p> <p>また、県内報道機関を通じ、適時、丁寧な情報提供を行っていく。</p>				<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①年間観光入込客数 (+153,413人) ②下北地域内における観光消費額 (+2,040百万円) ③下北地域内における宿泊者数 (+56,430人) ④海外事業での新規取引件数 (+15件) ⑤釜臥山展望台利用者数 (+12,622人)

※経費内訳はR7年度事業費

事業概要【スポーツによる未来創造事業】

申請者	青森県むつ市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	55,500千円 (18,500千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・東京大学と連携し、最先端技術を用いた科学トレーニングを取り入れることにより、こどもたちの将来への広い視野と「考えることで強くなる」という意識の醸成を図る。 ・最先端技術を有効に活用できる環境を整え、より高いレベルでのトレーニング効果を求める地域外選手の利用又はチームの合宿誘致を促進することで、宿泊業や飲食業の活性化及び観光地としての入り込み客数の増加を図る。 ・市が中心となって運営している地域クラブのほか、地域住民が組織・運営し中学校部活動の受け皿となり得る地域クラブに運営補助金を交付し支援することで、地域でのクラブ活動が幅広く展開され、全ての中学生の活動の選択肢及び大会出場機会が拡充される。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 東京大学スポーツ先端科学連携研究機構との連携によりスポーツの観点から取り組むことが可能と考えられる地域課題の解消を図る。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○東京大学連携事業費 10,000千円 ・陸上選手を中心としたアスリートの動作分析 ・東大生とむつ市小中高生徒の交流イベント ・連携事業の円滑化のための教授派遣 ○むつ市地域スポーツクラブ補助金 8,500千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>東京大学と連携し、地域スポーツクラブへ科学的分析（運動の基礎となる走・跳・投の動作、ローイングフォームなど）や指導を行うほか、地域住民への健康増進プログラムの提供など、幅広い年代を対象にスポーツを通じた取組を展開する。</p> <p>その他、市有スポーツ施設において施設指定管理者とも連携し、トレーニングのデータ等を計測できるシステムを構築することで、地域外からの施設利用（合宿等）の促進を図る。</p>					<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①地域の交流人口の増加（東京大学関係者の来市延べ人数）（+350人） ②中学生の全国大会出場件数の増加（+4件） ③中学生の地域クラブ加入率（+1.5%） ④健康増進プログラム参加者数（+170人） ⑤市総合体育館（むつマエダアリーナ）の施設利用者の増加（+61,000人）</p>

事業概要【濃々園リノベーション事業】

申請者	青森県むつ市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	409,047千円 (368,128千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 湯野川温泉濃々園をリニューアルし、新たな観光及び賑わい拠点を整備することで、観光消費額の増加を図る。 車中泊が可能なRVパークを整備することで、近年のドライブ観光やアウトドア需要に対応するとともに、下北半島の周遊観光のハードルを下げる。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】</p> <p>むつ市川内地区において、地域資源である温泉を活用した観光振興と地域住民の休養を目的として開設されていた「むつ市湯野川温泉濃々園」をリニューアルし、新たな観光及び賑わい拠点として整備する。</p> <p>【拠点整備事業経費】</p> <p>○湯野川地区に濃々園（温泉設備）を新築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事費 191,787千円 ・電気設備工事費 57,538千円 ・機械設備工事費 102,681千円 ・工事現場監理費 10,622千円 ・既存ポンプ設備更新 5,500千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>しもきたツーリズム、地域おこし協力隊員、Rebornかわうち実行委員会らと連携し、当該施設の利用増加や関係人口の増加を目的としたイベント等を開催する。</p> <p>ほか、むつ市立川内中学校を地域の観光資源の学びの場として使用するほか、地域社会との交流の場として活用していく。</p> <p>また、F Mむつと連携し、当該拠点で実施する事業に関する情報発信に取り組む。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①下北地域における観光消費額 (+1,019百万円) ②誘客イベント開催数 (+3回) ③年間観光入込客数 (+133,413人) ④施設利用者数 (+16,000人)

事業概要【農産物直売所を拠点とした食と観光の加工施設整備事業】

申請者	青森県つがる市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	881,088千円 (881,088千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<p>・農産物の安心安全な販売と加工による付加価値向上に向け、農産物直売所に併設した加工施設を整備することで、加工機能向上に伴う商品開発者を増加させ、6次産業化を推進するとともに、農業者の所得向上のみならず関連産業全体への波及効果を目指し、将来にわたって持続可能な産業構造の確立を図る。</p>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【拠点整備事業経費】</p> <p>○農産物直売所に隣接した加工施設及び駐車場の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備 816,342千円 ・駐車場整備 52,183千円 ・備品購入費用 5,713千円 ・工事監理費用 6,850千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>指定管理者：加工施設の特性を活かした事業を立案・実施する つがる市：施設に関わる事業の調整を行う 県立木造高等学校：商品開発や体験型観光プログラムの立案 地域おこし協力隊：直売所・加工施設のイベント情報等の発信</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①地域における農林水産就労者数（+23人）</p> <p>②農産物直売所観光消費額（+2.5億円）</p> <p>③加工施設利用者数（+1,119人）</p> <p>④新商品開発数（+8個）</p>


事業概要【ローカル鉄道無人駅を活用した（仮称）地域づくり活動拠点施設整備事業】

申請者	青森県平川市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	150,472千円 (44,726千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ローカル鉄道無人駅を地域づくり活動拠点施設として整備することにより、待合環境の向上の他、地域イベント等の開催や産直スペース・コミュニティカフェの展開など、多世代交流や経済効果の創出が図られる。 また、地域運営組織の活動拠点を整備することで、積極的な地域活動の展開が期待されるとともに、地域住民の参画を促す仕組みを整え、持続可能な地域運営体制の構築が図られる。 					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【拠点整備事業経費】</p> <p>〇ローカル鉄道無人駅を多目的交流拠点施設として整備</p> <p>・施設整備 43,329千円</p>					
地域の多様な 主体の参画	<p>地域活動に取り組む団体の拠点施設としての活動促進に加え、地域おこし協力隊の受け入れや鉄道会社との連携により、施設を活用したイベント等の企画やPR活動を展開することで、地域活性化を促進する。</p> <p>学習スペースや交流スペースの活用により、地元小中学校の児童・生徒の利用も促し、教育活動に活かしつつ幅広い世代の交流につなげる。</p>				<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の人口数 (▲1,890人) ②ワークショップ等のイベント数 (+540回) ③コミュニティカフェ利用者数 (+72,240人) ④農産物・地域製品の販売額 (+21,672円)

申請者	青森県藤崎町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	108,541千円 (20,431千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ふじさき食彩テラスの冬期間の販売力向上 ・農産物のブランド化や、6次産業化の取り組みの多様化 ・農業就業人口の減少による担い手不足の解消 ・交流・関係人口の伸び悩み解消 		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【事業概要】</p> <p>○ふじさきチャレンジファーム事業 町の遊休資産を活用し、屋内ファーム（きのこ栽培）及び施設園芸ハウス（アクアポニックス）による「ふじさきチャレンジファーム」を整備し、一年を通じた地域の稼ぐ力の向上やふじさき食彩テラスの販売力の強化を目指す。</p> <p>○農福連携による農業研修・農業体験事業 上記の取り組みを農福連携により実施するため、農福連携による農業体験・研修スキームを構築、農福連携コーディネーターの育成、障がい者のチャレンジ就労を促進を実施する。</p> <p>○青森さくらげ等の施設園芸農産物を活用した新たな食の魅力づくり事業 「ふじさきチャレンジファーム」において、生産安定化の仕組みづくり、青森さくらげやアクアポニックスで生産する施設園芸農産物の普及やブランド化、施設園芸農産物を活用した新たな加工品の開発販売、首都圏等へのPRプロモーションによる販路開拓などを展開する。</p> <p>○りんご「ふじ」の原木及び施設園芸を活用した新たな観光教育体験プログラム事業 りんご「ふじ」の原木を保全活用しながら、新たな観光×食体験プログラムやアクアポニックスによる観光農園プログラムを構築し、ふじ原木公園を拠点とした交流・関係人口の創出や生態系を体験できるSDGs教育の提供に取り組む。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <p>○アクアポニックス農法導入計画、農産物・養殖魚のブランディングの内容のブラッシュアップ ・屋内ファーム農産物生産アドバイザー費等 2,250千円</p> <p>○農福連携コーディネーターの人材育成、障がい者の就労機会確保マッチング体制の強化 ・農福連携コーディネーターアドバイザー費等 7,466千円</p> <p>○青森さくらげ等の地域資源を活用した、特産加工品の開発やプロモーション活動の強化 ・新たな食の魅力アドバイザー費等 9,915千円</p> <p>○りんご「ふじ」の原木等を活用した観光×食体験プログラムの企画・運営 ・ふじ原木りんごプレミアム産品プロモーション業務運営費 800千円</p>		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①チャレンジファーム農産物販売額（+60,000千円） ②農福連携による農業研修・農業体験者数（+1,000人） ③観光体験プログラム利用者数（+1,000人） ④ふじ原木りんごプレミアム産品開発数（+9品） 		<p>関連URL</p> <p>（交付金の具体的使途・実施体制） http://www.town.fujisaki.lg.jp/ （効果検証） http://www.town.fujisaki.lg.jp/</p>
<p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>			



事業概要【ふじさき関係人口共創プロジェクト】



申請者	青森県藤崎町						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	21,747千円 (7,268千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 地域ワークショップを通じて、デジタル記事とプロモーション商品を掛け合わせた新たなプロモーション手法を獲得し、参加者主体で発信する。 外部人材の登用し、地域課題に深く関わることで、地域が外部人材を受け入れる土壌が作られ、新たな関係人口を創出するという好循環を生み出す。 関係人口と地域住民の関わりにより、関係人口を端緒とする定住人口の獲得と地域活性化の好循環を生み出す。 							
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 関係人口を創出することで将来的な移住定住を促進し、関係人口と地域住民の関わりによる地域づくりの好循環を生み出すための事業に取り組む。</p> <p>(1)ふじさきデジタル共創プログラム事業 地域資源を掘り起こし、デジタル記事としてインターネット上で発信することに加え、発掘した魅力を伝えるプロモーション商品を企画・作成するための講座やワークショップを実施する。</p> <p>(2)複業クラウド事業 民間の複業・フリーランス人材をアドバイザーやコーディネーターとして招致するためのマッチングプラットフォーム「複業クラウド」を活用し、外部人材を登用して地域課題の解決を図る。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○ふじさきデジタル共創プログラム事業 ・ワークショップ等運営費（委託料）5,000千円 ・事務局運営費（消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、使用料及び賃借料）288千円 ○複業クラウド事業 ・複業人材登用に係る運営費（委託料）1,980千円</p>							
地域の多様な 主体の参画	<p>図書館やまちあるき団体、地域おこし協力隊、観光拠点施設からの助言や連携をすることで効果的なプロモーション商品や手法への改善を行う。</p> <p>また、大学や銀行、メディア等の様々な知見からの効果検証によって事業全体の運営改善を行う。</p>						<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①15歳から39歳までの転入超過率 (+9%) ②町外の事業参加者数 (+39人) ③作成したデジタルコンテンツへのアクセス回数 (+2,130件) ④移住相談件数 (+30件)

事業概要【藤崎校舎利活用プロジェクト「アクアポニックスタウン」整備事業】

申請者	青森県藤崎町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	303,644千円 (303,644千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<p>・廃校舎の未利用施設等を利活用し、アクアポニックス栽培技術を基軸とした、持続可能な農業、教育、観光、食育など多面的な機能を有するSDGsの拠点施設「アクアポニックスタウン」を整備する。</p> <p>・第1次産業の体験学習、生物共生や水資源循環などの環境教育、オーガニックの生きた食体験、観光農園としての機能など、複数のSDGsの目標にコミットする要素を複合的に提供することでSDGs教育を全世代に展開し、持続可能な地域形成を目指す。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【拠点整備事業経費】</p> <p>○アクアポニックスタウン整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築物整備 211,524千円 (建築物本体工事、建築物と不可分な設備工事、実施設計費) ・設備整備・用地造成等 80,631千円 (アクポニ農園整備工事、裏庭パーク整備工事、外構工事、アクポニカフェ設備工事) ・備品整備等 4,559千円 (アクポニカフェ備品整備) ・効果促進事業(ソフト事業) 6,930千円 (webサイト作成) 						
※経費内訳はR7年度事業費							
地域の多様な 主体の参画	<p>アクポニでの農産物等の生産について産業技術センターや大学から技術提供や提言をもらい、アクアポニックスタウンでの観光コンテンツ構築やイベント開催について広域DMO、地域おこし協力隊、まちあるき団体より意見をもらい、産直施設での農産物のPR販売、メディアでの情報発信等であり、リピート力のある観光コンテンツ構築を目指す。</p> <p>また、子どもたちのSDGs教育の場として、地元小中学校から意見をもらいながら学校教育等への導入拡大に向けた改善を行い、社会福祉協議会と連携し、障害者雇用等について助言や周知の協力により雇用拡大に向けた取り組みの改善をする。</p>					KPI	<ol style="list-style-type: none"> ①町の農福連携による農林水産就労者数 (+107人) ②町の観光消費額 (+145,597千円) ③アクアポニックスタウン来場者数 (+44,400人) ④Webサイトページの閲覧数 (+9,600回)
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【七戸高校の魅力化を核とした教育の充実による地域づくりプロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	青森県七戸町	初回採択回	令和3年度第2回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	175,572千円 (37,114千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・町の活性化と人口減少・少子化対策を支援 ・持続可能な地域づくりを担う人材育成を推進し、将来の七戸町を担う高校生を対象にした公設民営塾を開設することを通じて、多様な学び場を創設。 ・町で働き生涯を過ごし、または町外に出たとしても関わり続けられる地方創生の好循環を構築し、住み続けたと思えるまちづくりを目指します。 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】町の魅力の学びの場・人材育成の場として公設民営塾の管理運営を一体的に取り組んでもらうため、民間事業者へ委託し、キャリア教育や新規就農者、地域おこし協力隊の方による講義、中学生や町の任意団体との交流、他県の公営塾生徒との交流、生徒が進んでいく分野に必要な学習支援などを塾の講師がマネジメントしながら、町の魅力を幅広く生徒に伝えていくよう取り組みながら運営していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公設民営塾管理運営業務（委託料）37,114千円 		 
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①公設民営塾利用生徒数（+120人） ②七戸高校卒業者の町内企業就職率（+9.40%） ③七戸高校入学試験受験者数（+20人） ④地元中学生の七戸高校進学率（+10.0%） 		関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） （効果検証） https://kashiwabajuku.com/ https://www.town.shichinohe.lg.jp/kurashi/izyusien/post-360.html

事業概要【小川原湖を核とした持続可能な観光地域づくり事業】

申請者	青森県東北町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	37,568千円 (37,568千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野	地方経済の創生
目的・効果	<p>・東北町は少子高齢化により人口減少が進み、それに伴い産業も徐々に衰退し、地域の持続性において大きな課題を抱えています。本事業は数少ない町の観光資源である「小川原湖」を最大限に活用することで、地域独自の強みを活かした地域活性化を図り、選ばれる持続的な地域づくりを促進するものです。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 町の持続的可能な地域づくりという将来像において、現状、少子高齢化による加速的な人口減少により、産業全体も徐々に衰退してきており、持続性において大きな課題を抱えています。その課題解決のために、町は観光誘客や地域コミュニティの場づくり、消費拡大を目的とした観光地域づくりが必要と考えます。本事業を遂行することで、町内外の人々が集う場や子供たちが遊ぶ場が生まれ、癒しを提供するアウトドア空間が生まれ、さらには有事の際の防災拠点として整備されることにより、持続可能な観光創出及び地域づくりに資するものです。</p> <p>①施設整備：アウトドア施設（トレーラーハウス等）の設置及び既存施設の改修、遊具の設置 ②暑さ対策：アウトドア施設への空調設備整備 ③防災対策：アウトドア施設を有事の際の避難場所に活用、Wi-Fi整備、防災遊具の設置</p> <p>【拠点整備事業経費】 ・施設整備費用 37,568千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>株式会社おがわら湖などの町内民間事業者及び観光協会、包括連携企業、教育機関、地域おこし協力隊、地域活性化起業人、地域づくり団体などとの連携において意見の集約や各役割における各々の活動をベースに取組を実施していく。</p>					KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最 終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	<p>★①観光消費額 (+131百万円) ②観光客入込数 (+39,168人) ③宿泊施設平均稼働率 (+25%)</p>


※経費内訳はR7年度事業費

事業概要【ブルーカーボン×脱炭素＝藻場再生と漁業振興事業】

申請者	青森県佐井村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	57,805千円 (21,428千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素先行地域計画に掲げるブルーカーボン事業を展開し、地球温暖化対策と連動した漁業振興を進める。 ・藻場創出で水産業へカーボン・オフセットによる付加価値を創出し、シビックプライドを醸成することで、漁業への関心を引き付け、後継者確保を図る。 ・藻場再生により漁家所得の向上を図るとともに、ブルーカーボンをクレジット化し自主財源の確保に努める。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○既存情報による藻場の現状把握等に係る経費 <ul style="list-style-type: none"> ・現地調査（委託料） 5,526千円 ○定例打合せ（月1回）に係る経費 <ul style="list-style-type: none"> ・委託料 2,634千円 ○調査結果とりまとめに係る経費 <ul style="list-style-type: none"> ・専門家ヒアリング（委託料） 283千円 ○報告書作成に係る経費 <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果取りまとめ（委託料） 1,114千円 ○磯焼け要因分析、その対策立案に係る経費 <ul style="list-style-type: none"> ・藻場再生計画等の策定（委託料） 1,776千円 ○委託業務全般に係る間接経費 <ul style="list-style-type: none"> ・一般管理費等（委託料） 10,095千円 <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>地元漁協と連携し、大学や研究機関の専門家からの知見を得て、磯焼け状況の現況調査、それを踏まえての藻場再生計画を策定し、その計画を下に藻場の育成・維持管理等を行うとともに、水産振興に取り組む。</p> <p>また、取組内容は県内メディア等に協力を求め、進捗状況について村内外にタイムリーな情報発信を行う。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①ブルーカーボンCO2賦存量（+233t-CO2） ②Jブルークレジット販売料（+12,811千円） ③漁家一戸あたりの漁獲高（+992千円） ④漁師縁組事業定住者数（+3人）

事業概要【食と健康のまちづくり拠点施設整備事業】

旧制度（拠点）

申請者	青森県五戸町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	943,976千円 (859,881千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<p>県道20号線沿いに産直、物販、飲食等の機能を持った拠点施設を整備し、農産品販売を通じて生産者と消費者を結び付け、農業所得の向上とやりがいの提供及び後継者の育成。同時に他産業（診療所）と結びつき、食と健康の新たな地域産業を育む。人口減少への対策として観光客や買い物客を誘致し、交流促進を担い、地域経済との連携を強化し、地域活性化と雇用創出を図る。</p>		
<p>整備内容・ 利活用方策</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>食と健康の拠点施設において、地元農家等や指定管理者及び関係団体と連携し馬肉・牛肉・鶏肉の「三大肉」を活かして当地メニューやイベントを通じて「希少性の高さ」を情報発信したり、体験型コンテンツを導入するとともに観光庁監修のご当地なびアプリやIoTふるさと納税自販機等を導入するなど、デジタル技術活用により売上向上を図る。</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 ・食と健康の拠点施設整備：693,132千円</p> <p>○効果促進事業（ハード事業）の内容 ・造成工事125,796千円</p> <p>○効果促進事業（ソフト事業）の内容 ・備品整備費40,953千円</p>		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①町内の主要な産直施設の売上の合計額 (+1億9,642万円)</p> <p>②拠点施設における年間入込客数 (+19万5,900人)</p> <p>③管理運営団体との契約者数 (+200人)</p> <p>④新規就農者の増加 (+12人)</p>	<p>関連URL</p>	<p>(交付金の具体的使途・実施体制) (効果検証)</p> <p>https://www.town.gonohe.aomori.jp</p>